

優良工事表彰式

7月29日、三春ダム管理所会議室にて優良工事事務所長表彰式が行われました。

優良工事事務所長表彰とは、平成16年度に施工された工事のなかで、工事成績が優秀で卓越した技術力や創意工夫があったもの、困難な条件を克服したもの等を選定して表彰を行うものです。



山下所長より

ムツ電株式会社様 優良工事 三春ダム管理所長賞 受賞おめでとうございます。この上に、東北地方整備局の局長表彰もごさいますので、是非そちらの方も目標に今後とも受注された工事に置いてより良い整備に携わって頂ければと思います。

今回表彰となった「西方地区光ケーブル工事」(ムツ電(株)施工)では、次の点が評価されました。

- ①工事完了後の維持管理に有効な技術の積極的提案が行われた
- ②工事施工箇所周辺河川へ投棄されたゴミの撤去を行い環境整備に努めた
- ③架空配線となるためケーブルが通過する地域住民に対して個別に工事概要の説明を行い地域住民への配慮した工事施工

工事概要

光ケーブル敷設 L=8,200m(架空配線・地中管内配線)
地中配管 L=290m
舗装復旧・掘削埋戻し 1式

ダムコン説明会

7月21日、ダムコンの操作説明会(操作訓練)が行われました。

“ダムコン”とは、上流で降った雨の量や川の水位を基にダムにどのくらいの水が流れてくるか計算したり、ダムから水を流すためのゲート操作を行うための装置です。今年度管理所へ異動してきた職員が操作を熟知する必要があるのはもちろん、以前から操作に携わっている職員も操作方法の再確認を行うために開催されました。

この装置には実際のゲート操作の訓練を行う事が出来るため、本番さながらの操作を体験できます。



また、擬似的に水位等のデータを入力できるため何十年に一度といわれるような大洪水を想定した訓練も行うことができます。このように定期的に操作訓練を行うことにより、実際洪水が起こった際には迅速に対応できるようになります。

国家公務員安全週間

～ 毎日の 慣れた仕事に 落とし穴 ～

7月1日（金）から7日（木）にかけて国家公務員安全週間が実施されました。国家公務員安全週間は、各府省、各機関が災害の根絶を期して、安全管理に関する施策の充実、安全意識の高揚及び安全活動の定着を図り、職員の安全を確保することによって、公務効率の向上に資することを目的として、毎年この時期に行っているものです。

三春ダム管理所では、7月5日（火）田村消防署三春分署の指導のもと、消防総合訓練を実施しました。庁舎内で火災が発生したという想定で、通報訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練等を行い、管理所職員の防火意識の高揚に努めました。また、7日（木）には、自動車点検講習会を行い、始業前点検の実施方法の外、ブースターケーブルのつなぎ方、車載発煙筒の使用法等、万が一のトラブルへの対応についても、電気通信係の増田技官が実演を交えて説明しました。

今回の安全週間を通じて、三春ダム管理所職員一人一人の安全に対する意識が、より高まったことと思います。



自動車点検講習会を開催して

電気通信係 増田

7月 7日（木）はれぬくもり

今日は管理所に配置している連絡車を使って、自動車の走行前点検の説明会を開きました。

さて、車の走行前の点検とはどういったことをすればよいのか？点検した事により小さな事から大きな事まで（なんかどっかのCMみたいですね(；A)）結構分かるものなので、バッテリー液やエンジンオイルの量、タイヤ（のゴム）の減り等を出かける前に見ていただければという思いを込めてお話しました。



聞いているだけじゃつまらないし、話してるだけでも面白くないので、実際バッテリーが上がった時の想定でブースターケーブルを繋いで頂いたり、普段使わないような発煙筒を焚いてみたり（左図）で、結構楽しんでいただきながら分かってもらえたんじゃないかなと思います。

どこでだかは忘れてしまいましたが、ライフハンマーを使って実際に窓ガラスを割る訓練を実施していました。今回の講習でもやりたかったのですが、あっさりと“ダメ”といわれました。(涙)

ホントはもうちょび〜っと話たいこともあったのですが、時間切れのため来年に持ち越すことにします。なお、訓練は今年できなかったタイヤの交換なんかやっていただきたいかなと思います。



平成17年度

管内技術発表会 開催

平成17年7月13日・14日の2日間にわたり、メルパルク仙台において「平成17年度東北地方整備局管内技術研究発表会」が開催されました。本発表会は、東北地方整備局、自治体、公団、民間企業が一同に集まり、新技術、コスト縮減及び地域づくり、環境対策等さまざまな内容についての業務成果を発表する場で、東北地方整備局職員はもとより、多数の一般の方々に聴講して頂きました。

三春ダム管理所からは、長岐水質係長が「さくら湖における深層曝気施設の効果について」という題目で現在さくら湖で稼働している水質保全対策のうち深層曝気装置について効果及び今後の課題について報告をしました。

感想

他の人の発表を聞き、わかりやすい表現、内容、構成など、とても参考になりました。

永年勤続表彰式

7月21日に「国土交通Day」の一環として、建設事業に功労のあった個人及び団体に対する国土交通大臣表彰、東北地方整備局長表彰がメルパルク仙台で行われました。



当管理所からも長岐水質係長が永年勤続者（20年）として表彰されました。今後も、より一層の活躍を期待いたします。

メダカ観察日記 Part 2



（前回のつづき） 昨年末に突然関係者が自宅で飼育しているメダカを管理所に持ってきて「自宅だとどうしても水温の管理が出来ず、冬場に死んでしまう」というのです。三春ダム生物係としては、当時と異なり管理所に人が常駐しており、当時の水槽もある。昨今の社会情勢を考えれば、急性毒物試験の検体としてメダカは適役ではないか。（建前、本当はメダカを見ていたら心が和み、癒しの効果が期待できる）と、急遽飼育が始まったわけですが、コンセプトは大滝根川・さくら湖の水を使用し、メダカを飼育する。無事越冬できた場合は、産卵、繁殖させる「さくら湖メダカ1億匹計画」（筆者が勝手に考えています）の発動となりました。

最初は小さな水槽で飼育を始めたのですが、温度管理をするには容量の少ない水では水温変動が大きくメダカにストレスを与えるのではないかと→大きな水槽への変更→容量浄化装置を含め約200ℓ→ポリタンク10個のさくら湖の水の採取（腰に負担が）→庁舎内に水槽を設置したことにより水温が12℃程度まで上昇→活動を休止していた植物プランクトンが活性化→2日程度で水槽壁面は緑色→清掃→浮遊した藻類が浄化槽に吸い込まれ浄化槽内が目詰まり→浄化槽の清掃、と当初予想を遙かに超える手間のかかる作業でした。

しかし、手間がかかればかかるほどメダカが愛おしくなり、いざ急性毒性試験となったら、DIY店で金魚買ってこよと思うほどになりました。

以下次号、越冬完了から産卵までの予定



Q. 三春ダム管理所で働く人は、どんな仕事をしているの?

A. 三春ダム管理所では、21人が働いています。ダム堤体や貯水池周辺の安全確認・設備の点検・整備・補修など様々な仕事があります。また、大雨や緊急時のために24時間体制でダムの安全を見張る通報連絡員の方々もいます。

ダムは、大雨で川の流量が増えればダムに水を蓄えて洪水を調節したり、反対に川の水が少ない時は貯めた水を補給したりという操作を行っています。気象台やレーダー雨雪量計からの情報、管内の観測所から降

雨及び川の流量状況をとらえ、今後の降雨量やダムへの流入量はどれくらいかを予測します。放流する時は、川の管理者、市町村、警察、報道など関係機関に連絡をとると同時に警報所からサイレンやスピーカーなどで危険を知らせます。



ダム施設操作



貯水池の点検



流木やゴミの処理



係船設備の点検

自然観察ステーションからのお知らせ

●星を見る会●

8月12日(金)、20日(土)、26日(金)

～お問い合わせ～

三春交流館まほら 0247-62-3837

自然観察ステーション 0247-61-1546

6月の見学者

- 6月 1日(水) 古殿町公民館高齢者学級 (寿大学) 40名
- 6月10日(金) 郡山市立小原田小学校 4年生 96名
- 6月10日(金) 郡山市立橋小学校 3年生 73名
- 6月14日(火) 郡山市立鬼生田小学校 4年生 8名
- 6月17日(金) 郡山市立大成小学校 3年生 140名
- 6月17日(金) 東京都中野区立桃園第三小学校 5、6年生 117名
- 6月22日(水) 宮城県黒川高等学校 3年生 66名
- 6月24日(金) 田村市立門沢小学校 3、4年生のみなさん18名



6月は、たくさんの方々が三春ダムの見学にいらっしゃいました。また、札紙やお手紙を頂きありがとうございました。

編集後記

夏休みに入り、資料館を訪れる人も親子連れを多く見かけるようになりました。石畑水生生物観察園では、暑さに負けずトンボやバッタ捕りなど、虫捕り網を持って子供達が元気に走り回っています。(石井)



資料館からのお知らせ

1階

展示ギャラリー&休憩コーナー



2階



展示室

1階 展示ギャラリーは、一般の方に無料で開放し作品展などを開催しています。詳しくは、水質係までご連絡ください。
2階 展示室では、ダムの仕組みや役割について楽しみながら学ぶことができます。

三春ダム資料館 ご利用案内

開館時間 : 9:00~16:30

休館日 : 年末年始

入館料 : 無料

編集・発行

国土交通省
東北地方整備局
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしております。

〒963-7722

福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内 403-4

TEL 0247-62-3145 FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>